

# 東京 FAXニュース

# 2019 6.21

# No. 405

# JR東労組東京地本

**第38回定期大会を踏まえ、2016年に開催された第32回定期大会からスト権が確立した第33回臨時大会に至る事実調査を求め**

## 本部に「調査委員会設置」の要請を行う!

東日本旅客鉄道労働組合中央本部  
中央執行委員長 山口浩治 様

2019年6月19日  
東日本旅客鉄道労働組合  
東京地方本部  
執行委員長代理 七島善久

### 「調査委員会設置」の要請について

2019年6月13日にJR東労組第38回定期大会が開催されました。

山口執行委員長は、定期大会のあいさつで、2016年当時を振り返り「第32回定期大会で確認した『格差ベア反対の意思確認一票投票』が、東京地本大会では『スト権確立一票投票』とねじ曲げられてしまいました。そしてそれに辻褃を合わせるように、大会ではなく全地本委員長会議で『格差ベア反対のスト権確立一票投票』に格上げされ、組合員に『確立と行使は別』としてオルグし82.3%の賛同まで高めました。そして・・・」と「スト権確立」までの経過を述べています。また、加藤書記長は、総括答弁で「東京地本の大会ではその場に私も来賓で参加して驚いたのですが、当時鳴海委員長から『東労組の大会でスト権を確立してたたかう事を決定しました』と挨拶がされてしまうんです。ですから当時山口書記長から来賓あいさつで『本部大会でそういう事は決めていません』と指摘させていただきました」と述べています。

しかし、当時の大会議事録を見ても、東京地本大会で当時の山口書記長からそのようなあいさつ、また、本部感想でも指摘がなされた事実はありませんし、大会決定を意図的にねじ曲げた等の事実は存在しません。

このような、印象操作ともとれる歪曲した事実経過は、組織混乱を招くものであります。

従いまして、本部に事実関係の「調査委員会」を設置し、2016年に開催された第32回定期大会からスト権が確立した第33回臨時大会に至る事実調査することを要請します。

なお、「調査委員会」の設置を要請したことは、公表させていただきます。

以上